

馬場秀夫 （ばばひでお） 外交評論家。明治二十四年九月九日埼玉縣生れ（一九〇一）。大正十一年東京外國語學校露語部卒。東京日日新聞社入社、のち毎日新聞社出版局長を経て政界へ轉じ、日本社會黨から衆議院議員となり、また鴻巣町長、行田市市長を歴任。日本外交協會、歐亞協會の關與し、日ソ相扶會常務理事を務めた。

著書 『足で視たソヴェト聯邦』（昭和九年六月五日チウカ社）、『焦點下の北方問題』（森正藏・黒田乙吉共著、東亞調査會編、昭和十七年七月二十日東京日日新聞社・大阪毎日新聞社）等。

